

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003001 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(教育) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 前田 桂子 / Keiko Maeda | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 前田 桂子 / Keiko Maeda | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 前田 桂子 / Keiko Maeda | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [教育]本館1F第13講義室 / Room13 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 初年次セミナー研究を行うに当たっての課題発見・課題探求能力, 問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。 | | |
| キーワード / Key word | 初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点) | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 全体の5分の4以上の出席を必要とする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 | | |
| 第2回 | 各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 | | |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンスの受講 | | |
| 第4回 | テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション | | |

| | |
|------|---|
| 第5回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション |
| 第6回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始 |
| 第7回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第8回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第9回 | 中間発表 質疑応答 |
| 第10回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正） |
| 第11回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出 |
| 第12回 | プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション |
| 第13回 | 合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出 |
| 第14回 | 最終レポートの修正 |
| 第15回 | 最終レポートの提出 |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003002 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(教育) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 飯塚 知敬 / Iiduka Tomoyoshi, 福留 真紀 / Fukutome Maki | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 飯塚 知敬 / Iiduka Tomoyoshi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 飯塚 知敬 / Iiduka Tomoyoshi, 福留 真紀 / Fukutome Maki | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [教育]本館2F第21講義室 / Room 21 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 初年次セミナー研究を行うに当たっての課題発見・課題探求能力, 問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。 | | |
| キーワード / Key word | 初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点) | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 全体の5分の4以上の出席を必要とする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 | | |
| 第2回 | 各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 | | |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンスの受講 | | |
| 第4回 | テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション | | |

| | |
|------|---|
| 第5回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション |
| 第6回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始 |
| 第7回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第8回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第9回 | 中間発表 質疑応答 |
| 第10回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正） |
| 第11回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出 |
| 第12回 | プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション |
| 第13回 | 合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出 |
| 第14回 | 最終レポートの修正 |
| 第15回 | 最終レポートの提出 |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003003 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(教育) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 稲毛 逸郎 / Inage Iturou, 池田 俊也 / Ikeda Toshiya | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 稲毛 逸郎 / Inage Iturou | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 稲毛 逸郎 / Inage Iturou, 池田 俊也 / Ikeda Toshiya | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [教育]本館2F第22講義室 / Room 22 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 初年次セミナー研究を行うに当たっての課題発見・課題探求能力, 問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。 | | |
| キーワード / Key word | 初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点) | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 全体の5分の4以上の出席を必要とする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 | | |
| 第2回 | 各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 | | |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンスの受講 | | |
| 第4回 | テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション | | |

| | |
|------|---|
| 第5回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション |
| 第6回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始 |
| 第7回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第8回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第9回 | 中間発表 質疑応答 |
| 第10回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正） |
| 第11回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出 |
| 第12回 | プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション |
| 第13回 | 合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出 |
| 第14回 | 最終レポートの修正 |
| 第15回 | 最終レポートの提出 |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003004 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(教育) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 大庭 伸也 / Shinya Oba | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 大庭 伸也 / Shinya Oba | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 大庭 伸也 / Shinya Oba | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [教育]本館2F第23講義室 / Room 23 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 初年次セミナー研究を行うに当たっての課題発見・課題探求能力, 問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。 | | |
| キーワード / Key word | 初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点) | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 全体の5分の4以上の出席を必要とする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 | | |
| 第2回 | 各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 | | |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンスの受講 | | |
| 第4回 | テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション | | |

| | |
|------|---|
| 第5回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション |
| 第6回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始 |
| 第7回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第8回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第9回 | 中間発表 質疑応答 |
| 第10回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正） |
| 第11回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出 |
| 第12回 | プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション |
| 第13回 | 合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出 |
| 第14回 | 最終レポートの修正 |
| 第15回 | 最終レポートの提出 |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003005 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(教育) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [教育]本館2F第24講義室 / Room 24 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 初年次セミナー研究を行うに当たっての課題発見・課題探求能力, 問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。 | | |
| キーワード / Key word | 初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点) | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 全体の5分の4以上の出席を必要とする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 | | |
| 第2回 | 各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 | | |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンスの受講 | | |
| 第4回 | テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション | | |

| | |
|------|---|
| 第5回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション |
| 第6回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始 |
| 第7回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第8回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第9回 | 中間発表 質疑応答 |
| 第10回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正） |
| 第11回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出 |
| 第12回 | プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション |
| 第13回 | 合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出 |
| 第14回 | 最終レポートの修正 |
| 第15回 | 最終レポートの提出 |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003006 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(教育) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 藤木 卓 / Takashi Fujiki | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 藤木 卓 / Takashi Fujiki | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 藤木 卓 / Takashi Fujiki | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [教育]本館3F第31講義室 / Room 31 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 初年次セミナー研究を行うに当たっての課題発見・課題探求能力, 問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。 | | |
| キーワード / Key word | 初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点) | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 全体の5分の4以上の出席を必要とする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 | | |
| 第2回 | 各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 | | |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンスの受講 | | |
| 第4回 | テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション | | |

| | |
|------|---|
| 第5回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション |
| 第6回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始 |
| 第7回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第8回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第9回 | 中間発表 質疑応答 |
| 第10回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正） |
| 第11回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出 |
| 第12回 | プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション |
| 第13回 | 合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出 |
| 第14回 | 最終レポートの修正 |
| 第15回 | 最終レポートの提出 |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003007 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(教育) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 及川 大地 / Oikawa Daichi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 及川 大地 / Oikawa Daichi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 及川 大地 / Oikawa Daichi | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [教育]本館3F第32講義室 / Room 32 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 初年次セミナー研究を行うに当たっての課題発見・課題探求能力, 問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。 | | |
| キーワード / Key word | 初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点) | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 全体の5分の4以上の出席を必要とする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 | | |
| 第2回 | 各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 | | |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンスの受講 | | |
| 第4回 | テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション | | |

| | |
|------|---|
| 第5回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション |
| 第6回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始 |
| 第7回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第8回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第9回 | 中間発表 質疑応答 |
| 第10回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正） |
| 第11回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出 |
| 第12回 | プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション |
| 第13回 | 合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出 |
| 第14回 | 最終レポートの修正 |
| 第15回 | 最終レポートの提出 |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003008 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(教育) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 森野 美央 / Miwo Morino | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 森野 美央 / Miwo Morino | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 森野 美央 / Miwo Morino | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [教育]本館3F第33講義室 / Room 33 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たっての課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。 | | |
| キーワード / Key word | 初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点) | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 全体の5分の4以上の出席を必要とする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 | | |
| 第2回 | 各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 | | |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンスの受講 | | |
| 第4回 | テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション | | |

| | |
|------|---|
| 第5回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション |
| 第6回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始 |
| 第7回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第8回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第9回 | 中間発表 質疑応答 |
| 第10回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正） |
| 第11回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出 |
| 第12回 | プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション |
| 第13回 | 合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出 |
| 第14回 | 最終レポートの修正 |
| 第15回 | 最終レポートの提出 |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003010 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(教育) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 佐々野 好継 / Sasano Yoshitugu | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 佐々野 好継 / Sasano Yoshitugu | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 佐々野 好継 / Sasano Yoshitugu | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [教育]本館4F第42講義室 / Room 42 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 初年次セミナー研究を行うに当たっての課題発見・課題探求能力, 問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。 | | |
| キーワード / Key word | 初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点) | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 全体の5分の4以上の出席を必要とする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 | | |
| 第2回 | 各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 | | |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンスの受講 | | |
| 第4回 | テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション | | |

| | |
|------|---|
| 第5回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション |
| 第6回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始 |
| 第7回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第8回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第9回 | 中間発表 質疑応答 |
| 第10回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正） |
| 第11回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出 |
| 第12回 | プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション |
| 第13回 | 合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出 |
| 第14回 | 最終レポートの修正 |
| 第15回 | 最終レポートの提出 |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003011 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(教育) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 平瀬 正賢 / Hirase Masatake | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 平瀬 正賢 / Hirase Masatake | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 平瀬 正賢 / Hirase Masatake | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [教育]本館4F第43講義室 / Room 43 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 初年次セミナー研究を行うに当たっての課題発見・課題探求能力, 問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。 | | |
| キーワード / Key word | 初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点) | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 全体の5分の4以上の出席を必要とする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 | | |
| 第2回 | 各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 | | |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンスの受講 | | |
| 第4回 | テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション | | |

| | |
|------|---|
| 第5回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション |
| 第6回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始 |
| 第7回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第8回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第9回 | 中間発表 質疑応答 |
| 第10回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正） |
| 第11回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出 |
| 第12回 | プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション |
| 第13回 | 合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出 |
| 第14回 | 最終レポートの修正 |
| 第15回 | 最終レポートの提出 |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003013 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(教育) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 三上 次郎 / Mikami Jirou | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 三上 次郎 / Mikami Jirou | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 三上 次郎 / Mikami Jirou | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [教育]本館1F第13講義室 / Room13 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 初年次セミナー研究を行うに当たっての課題発見・課題探求能力, 問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。 | | |
| キーワード / Key word | 初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点) | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 全体の5分の4以上の出席を必要とする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 | | |
| 第2回 | 各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 | | |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンスの受講 | | |
| 第4回 | テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション | | |

| | |
|------|---|
| 第5回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション |
| 第6回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始 |
| 第7回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第8回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第9回 | 中間発表 質疑応答 |
| 第10回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正） |
| 第11回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出 |
| 第12回 | プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション |
| 第13回 | 合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出 |
| 第14回 | 最終レポートの修正 |
| 第15回 | 最終レポートの提出 |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003014 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(教育) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 針貝 綾 / Harikai Aya | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 針貝 綾 / Harikai Aya | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 針貝 綾 / Harikai Aya | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [教育]美術・技術教室2F美術史演習・資料室 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 初年次セミナー研究を行うに当たっての課題発見・課題探求能力, 問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。 | | |
| キーワード / Key word | 初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点) | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 全体の5分の4以上の出席を必要とする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 | | |
| 第2回 | 各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 | | |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンスの受講 | | |
| 第4回 | テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション | | |

| | |
|------|---|
| 第5回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション |
| 第6回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始 |
| 第7回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第8回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第9回 | 中間発表 質疑応答 |
| 第10回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正） |
| 第11回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出 |
| 第12回 | プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション |
| 第13回 | 合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出 |
| 第14回 | 最終レポートの修正 |
| 第15回 | 最終レポートの提出 |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003015 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(教育) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 武藤 浩二 / Cosy MUTO | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 武藤 浩二 / Cosy MUTO | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 武藤 浩二 / Cosy MUTO | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [教育]本館2F第21講義室 / Room 21 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 初年次セミナー研究を行うに当たっての課題発見・課題探求能力, 問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。 | | |
| キーワード / Key word | 初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点) | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 全体の5分の4以上の出席を必要とする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 | | |
| 第2回 | 各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 | | |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンスの受講 | | |
| 第4回 | テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション | | |

| | |
|------|---|
| 第5回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション |
| 第6回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始 |
| 第7回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第8回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第9回 | 中間発表 質疑応答 |
| 第10回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正） |
| 第11回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出 |
| 第12回 | プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション |
| 第13回 | 合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出 |
| 第14回 | 最終レポートの修正 |
| 第15回 | 最終レポートの提出 |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003016 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(教育) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 呉屋 博 / Goya Hiroshi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 呉屋 博 / Goya Hiroshi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 呉屋 博 / Goya Hiroshi | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [教育]本館2F第23講義室 / Room 23 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 初年次セミナー研究を行うに当たっての課題発見・課題探求能力, 問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。 | | |
| キーワード / Key word | 初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点) | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 全体の5分の4以上の出席を必要とする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 | | |
| 第2回 | 各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 | | |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンスの受講 | | |
| 第4回 | テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション | | |

| | |
|------|---|
| 第5回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション |
| 第6回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始 |
| 第7回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第8回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第9回 | 中間発表 質疑応答 |
| 第10回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正） |
| 第11回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出 |
| 第12回 | プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション |
| 第13回 | 合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出 |
| 第14回 | 最終レポートの修正 |
| 第15回 | 最終レポートの提出 |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003017 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(教育) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 前原 由喜夫 / Yukio Maehara | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 前原 由喜夫 / Yukio Maehara | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 前原 由喜夫 / Yukio Maehara | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | 教育学部1年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | ymaehara@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 教育学部212号室 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 2386 (内線) | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 金3 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | <ol style="list-style-type: none"> 1. 知的活動への動機づけを高める。 2. 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。 3. レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。 4. 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 教員の提案するテーマそれぞれに対してグループを作り, 話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, 各グループでそのテーマに関して調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, グループレポートを作成, 提出する。また, 各学生が自分の活動を振り返り, 自身が担当した部分についての個人レポートも作成し, 初年次セミナー研究を行うに当たっての課題発見・課題探求能力, 問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 当クラスでは, 「長崎を知る・教えること」をテーマとする。授業の進行に関しては, 授業計画詳細情報を参照。 | | |
| キーワード / Key word | 初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ, 必要に応じて指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 授業のプロセス全般への主体的・積極的参加 30% プレゼンテーション 30% (中間15%・最終15%) レポート 40% (グループ30%・個人10%) | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 全体の5分の4以上の出席を必要とする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 大学で有意義な学習を行うために必要な技術と方法を身につけてもらいます。しかしながら, 最初から上手くできるなどということは決してありません。自分に最適な学習方法を発見するためにも, 失敗を恐れず, 試行錯誤を重ね, たくさん行動してください。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 自己紹介, 初年次セミナーの趣旨説明, 授業の具体的な進め方の説明 | | |
| 第2回 | テーマの提示, グループ分け, 学生間の話し合いによる調査方針の絞り込み | | |

| | |
|------|---|
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンスの受講 |
| 第4回 | グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション |
| 第5回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション |
| 第6回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成 |
| 第7回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成 |
| 第8回 | 中間プレゼンテーション |
| 第9回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成 |
| 第10回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成 |
| 第11回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成 |
| 第12回 | 最終プレゼンテーション |
| 第13回 | グループごとにグループレポートの作成 |
| 第14回 | グループごとにグループレポートの作成 |
| 第15回 | グループレポートに対する意見交換 |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003018 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(教育) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 初年次セミナー研究を行うに当たっての課題発見・課題探求能力, 問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。 | | |
| キーワード / Key word | 初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点) | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 全体の5分の4以上の出席を必要とする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 | | |
| 第2回 | 各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 | | |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンスの受講 | | |
| 第4回 | テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション | | |

| | |
|------|---|
| 第5回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション |
| 第6回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始 |
| 第7回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第8回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第9回 | 中間発表 質疑応答 |
| 第10回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正） |
| 第11回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出 |
| 第12回 | プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション |
| 第13回 | 合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出 |
| 第14回 | 最終レポートの修正 |
| 第15回 | 最終レポートの提出 |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003019 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(教育) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 全 炳徳 / Jun Byungdug | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 全 炳徳 / Jun Byungdug | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 全 炳徳 / Jun Byungdug | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [教育]本館3F第31講義室 / Room 31 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | 初年次セミナー | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | bdjun@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 教育, 本館, 309号室 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-819-2324 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 月曜日, 8:50-10:20 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 初年次セミナー研究を行うに当たっての課題発見・課題探求能力, 問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。 | | |
| キーワード / Key word | 初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点) | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 全体の5分の4以上の出席を必要とする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 | | |
| 第2回 | 各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 | | |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンスの受講 | | |
| 第4回 | テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション | | |

| | |
|------|---|
| 第5回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション |
| 第6回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始 |
| 第7回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第8回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第9回 | 中間発表 質疑応答 |
| 第10回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正） |
| 第11回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出 |
| 第12回 | プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション |
| 第13回 | 合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出 |
| 第14回 | 最終レポートの修正 |
| 第15回 | 最終レポートの提出 |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003020 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(教育) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 西田 治 / Nishida Osamu | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 西田 治 / Nishida Osamu | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 西田 治 / Nishida Osamu | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 学生それぞれに研究したいテーマを, 目的, 方法, 成果の予測を含めて考えさせ, 口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り, グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週, 各グループでテーマの進捗状況, 今後の展開方法, 計画について話し合い, その検討結果を発表する。各グループ別に, 中間報告ならびに最終報告を, プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて, 報告レポート集を作成, 提出する。また, 各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し, 初年次セミナー研究を行うに当たっての課題発見・課題探求能力, 問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。 | | |
| キーワード / Key word | 初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点) | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 全体の5分の4以上の出席を必要とする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 | | |
| 第2回 | 各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 | | |
| 第3回 | 図書館資料収集ガイダンスの受講 | | |
| 第4回 | テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション | | |

| | |
|------|---|
| 第5回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション |
| 第6回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始 |
| 第7回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第8回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成 |
| 第9回 | 中間発表 質疑応答 |
| 第10回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正） |
| 第11回 | テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出 |
| 第12回 | プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション |
| 第13回 | 合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出 |
| 第14回 | 最終レポートの修正 |
| 第15回 | 最終レポートの提出 |